

月刊
大東楽譜
躍進日本
國民音樂具體的研究

本誌これからの所載要項

勇ましい唱歌 遊戯ダンス 男女青少年團 處女
会 用 新 作 軍 歌 唱 歌 國 民 歌 子 供 に よ る こ ば れ
る ピ ア ノ オ ー ガ ン 独 奏 伴 奏 名 曲 職 員 混 聲 合
唱 名 曲 教 育 音 樂 諸 研 究 同 友 の 便 り 等 々

少年大合唱
職員の合唱
故郷を憶ふ
全縣下又子中菁各校の
聯合大音樂會
此間行はれた或縣の
本正檢定問題
犬
犬
伴奏作曲研究発表
成樂會員のみの
座談會

第四篇
原田比古士良主宰
成樂會編纂發行

(輕快に) (ドツシリと)

アサヒノヒカリ ムチウラテラスニ カタドリタリ
みはたのもごに めぐみによくする めでたきよや
ウチナビカシテ ニホンラヘイワノ メイシユトナセ

故郷を憶ふ

犬童信藏作歌

咲き匂ふ花を見れば故郷憶ふ
I 父母如何に兄弟いかに恙はなきか
思へば遠し思へば戀し故郷の小山
II 思へば遠し思へば戀し故郷の小山
III 思へば遠し思へば戀し故郷の小山
IV 思へば遠し思へば戀し故郷の小山

國旗

傳田治朗作歌

見よや旭旗の其旗色を
I 大和の民の赤き心を
もゆるちほに染めなしたり
II 仰げ國旗の其はたじるし
III 宇宙を照すにかたどりたり
IV 豊榮のぼる旭の光
V げにや旭旗のかげさすかざり
VI 御稜威仰がぬところやある
VII 新附の民もみ旗の下に
VIII 旭旗掲げていざ勇ましく
IX 海のはてまで進みて行き
X 世界の蒼生をうち靡かして

成樂會員座談會

成樂會の樂譜をお探り下さる方はみんな成樂會の會員であられるからどうぞ御遠慮なく御談話を御送り下さいませ。(主任)

(一) コーラスも良いがユニゾン決して侮るべからず
會長 原田彦四郎

成樂會では今度會員の談話室を設けました。この誌上の此ページがそれであり、ゆくゆくはつと擴張したいと思ひますからどうぞ御援助をお願いします。夏休中の夏季音楽學校では皆裸と直接お目にかかれますが、それではお互におなつかしく思ひつゝも何とも致方がありませんから、せめて紙上でなりと握手してお互に思つたことを語りあひませう。勿論教育音楽を中心にしてのことに限りませうけれど、時には多少戯談することはやむを得ぬと思ひます。恕し合ふことにいたします。

さて本題に入りまして私の題は音楽會では三部三部等の合唱よりも或はムシロ同聲混聲の一齊唱歌の方が効果的ではないかといふ意味になつてもかまはないのであります。誰もアセリギミでつとめて二部か三部かの合唱をやりましたが、私も其一人であります。會場で純粹の客にこなつて二時間位平氣でミツチリ聴いてをりますと、公平なところどころユニソンの方がツチで聴いてをります。公平なところどころユニソンの専門學校の音楽會に御招待をいへて何ひましたが、中にユニソンが二つありましたが、實にリッパで美しくうれしくなりました。多くの合唱はビッチが外れてはるません、ハーモニーもマンザラでも感く申せばマゴロンでゴチない感じ、生氣がありません、感く申せばマゴロンでゴチない感じ、生にまた未熟ゾクン／＼する何物もなかつたのであります。いつて……最後に唱はれた大物は毎上演せられる同校の秘曲でも申せませうか、實に圓熟せられた大合唱で變化に富んだ莊嚴雄大、まさに肉の躍り眼に涙のうるむ大成功大効果的のありたいコーラスでありました。だからつぼりコーラスの方が、アインせられる時と力があつたらつぼりコーラスの方が、良いけれどさもなくばムシロ齊唱をキレイにやる方が効果的ではないかと考へておきます。

(二) 地方だより

會員 K S 生

……兒童唱歌コンクールの際はおはづかしいところをお聴かせ申しまして何とも……今年もどうか地方豫選に入りましてのやつではありましたもの、充分な練習も出来ませず、その上子供も昨年のより少々實がおちてをりましたのであまりよいことになりませんでした……

地方豫選の際は昨年よりもほど強豪が多く集りましたので今年でもその数日だと思つてをりました……

成樂會の樂譜はラチオに放送してよろしうございませうか、皆は今感んに練習してをりますからぜひ御許しをいたしたう存じます、本校の音楽會でも近く演奏會を開催致しますが曲目は全部成樂會のでございます。來月號の待ち遠でありますどうぞ一日も早く送つていたゞらうございませう。

實は本校では毎学期全校學校の唱歌コンクールをやつてをりますが、本學期はそれを止めて純音樂會のものに代へようと思つてをります。音楽週中は毎日レコードコンサートや其他音楽に関する講話など致しました。學校を擧げて音楽に對して關心を持つてゝあるありませうございませう……

昭和九年十二月十日印刷(會員研究資料)

昭和九年十二月十二日發行(絕對非賣品)

靜岡市東區原町九一

編輯者 成樂會

代表 原田彦四郎

振替東京一八一五三

振替名古屋一〇二四八

靜岡市東區原町六丁目

印刷所 錦光堂

代表 渡邊三男

成樂會は新日本教育音楽研究のために左記月刊大樂譜によつて全國同志に勉勵資料としての新作の樂譜や遊戯や講話をリッパに印刷して可及的經濟的に分配し又夏季音楽學校を長期短期二種開校して熱心同志と共學する組織であります。創立は大正七年五月で現主幹原田彦四郎が靜岡師範敎諭時代の主唱でありませう。發行の特選音譜は將に三百五十號を越えんとしつゝあります。男女年齢を問はず六種の樂譜の何れかを購読せらるるか又は夏季音楽學校に勉勵下さる熱心誠意眞剣眞面目なる方々を以つて會員と致します。どなたでもいつでもおハカ御照會下さい。

成樂會月刊大樂譜(三月八月休刊)は全部ヒキヤスイ趣味深い伴奏附で適切で面白く今日の新教育にピッタリ即ち点が成立の第一要素であります。従つて學藝會運動會音樂會ラチオ放送に全くあつた向きの清新活潑な効果百パーセントであり、又應用教材として興味津々たるうちに實力を養ふ重寶も兼ねてをります。更に少青年團體女會にはまたない直接の新教材でありなほ校地方檢察受驗和聲作曲敎授法等の研究強要資料としても必ず見逃がせぬものがあります。切に御後援を御願ひ申し上げます。

成樂會月刊大樂譜(委託印刷會)
○新特選●三選●遊戯●昭和●大東
○既刊新刊中等合唱獨唱三部三部四部合唱
○ピアノオーガン樂譜山の如し(照會を)

職員のコラス

故郷を憶ふ

(混聲四部)

歌曲 作詞 藤原 信民 童遊 大獨

サキニホフーハナラミレバーフルサトオモ
さえわたる一つきをみればふるさどおも

フナクトリノーコエラキケバーフルサトオモ
ふくさになくむしをきけばふるさどおも

フチハハイカニハラカライカニツツガハナ
ふしのきみいかにごもがきいかにつつがはな

マハまはの ヤガヤが コランを
ウウウウの ノのの コランを

良い學校ではキツト男女職員の合唱が行はれてをります。ほんとうの教育はそれだけでなく……です。本誌には順を追うてその題材を掲げます。(編者)